

第18回 発電用設備規格委員会 材料専門委員会 議事録

1. 日 時: 2013 年 2 月 21 日(木) 13 時 30 分～16 時 20 分

2. 場 所: 日本機械学会 第1会議室

3. 出席者: 委員総数 22 名中、出席者 22 名

増山(九工大)、高橋(電中研)、木村(NIMS)、浅山(JAEA)、伊勢田(新日鐵住金)、尾崎(東電)、木原(ベストマテリア)、三枝(電中研)、澤田(NIMS)、榎木(住金テクノロジー)、田中(日本製鋼所)、田村(パブ日立)、中城(東芝)、藤森(日立 GE)、船田(JNES)、南(NKK シームレス鋼管)、山田(中電)、吉田(発電技検)、朝田(三菱重工)、齋藤(三菱重工)、安田(原安進)、伊藤(IHI)

代理人:なし

欠席者:なし

オブザーバー:なし

事務局:小沢

4. 配布資料

資料材 18-1	第 17 回材料専門委員会議事録(案)
資料材 18-2	材料専門委員会委員名簿及び出欠状況等
資料材 18-3	第 63 回発電用設備規格委員会議事録(案)
資料材 18-4	材料専門委員会 課題対応一覧(Tracking List)
資料材 18-5	材料事象の解説
資料材 18-6	圧力容器関連規格(JIS B8265, B8267)の許容応力表の作成
参考資料	発電用原子力設備規格 材料規格 (2012 年版)

5. 議事内容

(1)開会

委員総数 22 名中、出席 20 名(開会時)であった。出席者は委員総数の 2/3 以上(15 名以上)であり、本委員会は成立することを確認し、増山委員長が委員会開催を宣言した。出席者の自己紹介を行った。

(2)議事次第確認

議事次第(案)と配布資料を確認し、議事次第(案)記載の配布資料(18-7)を参考資料とした。

(3)議事録(案)の確認 【材 18-1】

第 17 回材料専門委員会の議事録(案)の確認を行い、議事録案は承認された。

(4)委員委嘱関係 【材 18-2】

退任、新任及び再任の対象はないことを確認した。

次期委員長選任の書面投票(No.8)の結果が以下のように報告された。

投票の成立:委員総数の5分の4以上(18票以上)である21票の投票があり、本投票は成立した。

投票の採決:投票委員の過半数(11票以上)である13票の投票を得た高橋由紀夫候補が選任された。

次期委員長候補である高橋副委員長から、次期副委員長候補として木村幹事が指名された。

次期委員長候補である高橋副委員長と、次期副委員長候補である木村幹事の協議により、次期幹事候補として山田委員が指名された。

次期副委員長候補と次期幹事候補について、規格委員会に推薦することが確認された。

(5) 規格委員会報告【材 18-3】

第 63 回発電用設備規格委員会議事録(案)の材料専門委員会関連部分が報告された。

6. 審議事項

(1) 材料専門委員会課題対応一覧(Tracking List)【材 18-4】

以下の5課題が審議未了であることを確認した。

RQ09-C2-002: (増山)材料事象に関する解説(非強制規格)

RQ09-C2-003: (増山、木原、石毛、齋藤、田村、山田)既存設計規格の中の材料関連事項の見直し

RQ10-C2-001: (高橋)デジタルデータ提供の手順

RQ12-C2-001: (木村)ファイル共有機能の運用ルール

RQ12-C2-002: (山田)発電用原子力設備規格 材料規格の特別要求事項に関するレビュー

(2) RQ09-C2-002: 材料事象の解説【材 18-5】

コメント対応清書版の主な修正内容について、各作成分担委員から説明があり、修正内容及び今後の取り扱いについて審議を行った。主な審議内容は以下の通りである。

1) 修正内容

- ・A-209.3: 「一部の産業では、応急補修としてオーバーレイ溶接」を「対策としてウェルドオーバーレイ」に修正する。

挙手による採決結果: 賛成 21 名, 反対 0 名, 保留 0 名

- ・A-304.1: 「電気バンドを使用」を「電氣的接合」に修正する。
- ・A-312.1: 「間質反応」を「格子間反応」に修正する。
- ・A-312.3: 「開口部」を「漏えい」, 「冷却剤」を「冷却材」に修正する。
- ・A-906: A-802 にも同一タイトルの「熱疲労」が存在するが、重複は構わないこととする。
- ・p.67: タイトルを削除する。
- ・A-908.1: JIS B8223「ボイラの給水及びボイラ水の水質」を追記した。
- ・A-914.1: 「定義」の説明を修正追記した。
- ・A-914.2: 「予防方法」の説明を修正追記した。
- ・参考文献: 本文中に番号を記載している文献は番号順に記載し、本文中に参考箇所が記載されていない文献は先頭に小さな黒丸を記載する。
- ・箇条書き: 本文中の箇条書きの記載には大きな黒丸を使用して、参考文献と区別する。
- ・用語の統一: 「焼戻し」等

2) 書面投票の意見対応資料(資料 17-5)を完成させる。

3) 単独の非強制規格として発行することを規格委員会に提案する。

挙手による採決結果: 賛成 21 名, 反対 0 名, 保留 1 名

4) その他確認事項

- ・ ASME の著作権を確認する。
- ・ 公衆審査の必要性を確認する。
- ・ 価格は出版委員会が決定する。
- ・ 出版に際しては標準・規格センターの承認が必要である。

(3) RQ12-C2-001: ファイル共有機能

材料事象の解説(清書版)のアップロードに際して、企業内パソコンからは添付ファイルをアップロードできないケースが多いことを確認した。

(4) 圧力容器関連規格(JIS B8265, B8267)に関する状況説明【材 18-6】

木原委員から、圧力容器関連規格(JIS B8265, B8267)に関する策定経緯と検討状況が説明された。許容応力の設定方法等について意見交換が行われた。

(5) 材料規格高度化のための材料専門委員会へのレビュー依頼について【参考資料】

発電用原子力設備規格 材料規格 2012 年追補公衆審査版について、山田委員から説明があった。次回の材料専門委員会で山田委員がレビュー内容の詳細を説明することとした。

7. 次回開催予定

日 時: 2013 年 5 月 30 日(木) 13:30-17:00 (予定)

場 所: 日本機械学会第 1 会議室

以 上